

1学期末保護者アンケートの結果について

1学期末には、アンケートへのご協力ありがとうございました。結果と考察、今後の取組についてお知らせします。中面の保護者及び児童のグラフも併せてご覧ください。

1.「学校全般に関わること」(設問①~⑤)について

5項目全てA そう思う B まあそう思うの合計が90%を越えました。特に、1「教育目標の具現化への取組」、2「教育方針や教育活動等の発信」3「地域とともに子どもを育てる」の3項目は98%と高い数値となりました。

一方、4「相談しやすい雰囲気や体制」と5「子ども一人一人への親身なかかわり」については、90%を越えていますが、昨年度と比べるとC評価が増えやや下がっています。お子さんの学校でのあらわれを積極的に伝えるなど、コミュニケーションをとるよう心掛け、学校と家庭がつながって子どもの育ちを協働で支えていけるように取り組みます。

2.「しなやかな考えをもつ子」(設問⑥~⑩)について

学習に関わる設問は、昨年度に比べ、数値が上がりました。特に、6「授業(学習内容)がよくわかる」は、A そう思う B まあそう思うの合計が90%を越えました。また、7「よく読書している」は、昨年度から13%以上高くなっています。読み聞かせを毎月2回にしたことや読みボラ通信の発行が、読書への関心を高めることにつながったと考えます。

また、家庭学習に関する設問では、A そう思う B まあそう思うの合計が、71.4%と昨年度とほぼ変わらず低い結果となりました。子どもたちの取組の状況を把握し、学習の方法や課題の出し方等について再考します。また、家庭と情報を共有し、双方の学習の見届けなど、連携して取り組んでいきたいと考えています。

3.「自分のよさを表現する子」(設問⑪~⑮)について

表現力についての設問は、5項目全ての数値が昨年度より高くなりました。特に、11「行事に精一杯取り組む」は、24項目中、唯一100%でした。その他の項目も大きく数値が上がっており、12「他学年の児童のことをよく知っている。」も90%に近づいてきました。

12月には表現力発表会を予定しています。目的やねらいを子どもと共有し、主体的に活動する場面を設けたり、表現の仕方(話し方・声の大きさ・書き表し方等)について丁寧に指導支援をしたりし、さらに力を伸ばしていきたいです。

4.「周りの人、ものを大切にする子」(設問⑯~⑲)について

「あいさつ」や「言葉づかい」の設問について、A そう思う B まあそう思うの合計が90%に届きませんでした。あいさつについては、他者から認められて初めて自慢と言えると考えています。生活のあらゆる場面で自然にあいさつが交わせるように、子どもたち自身が、どのようなあいさつをしたらよいか考え、実践するよう取り組んでいきます。

また、18「困った人・ことがあると手助けしようとする。」は、昨年度より、7%近く数値が下がり90%を切りました。たてわり活動や他学年との合同の授業や活動など、様々な関わりができる場の設定と活動の充実を図り、他者への思いやりを丁寧に育んでいきたいと考えています。

5.「工夫して挑戦し続ける子」(設問⑳~㉔)について

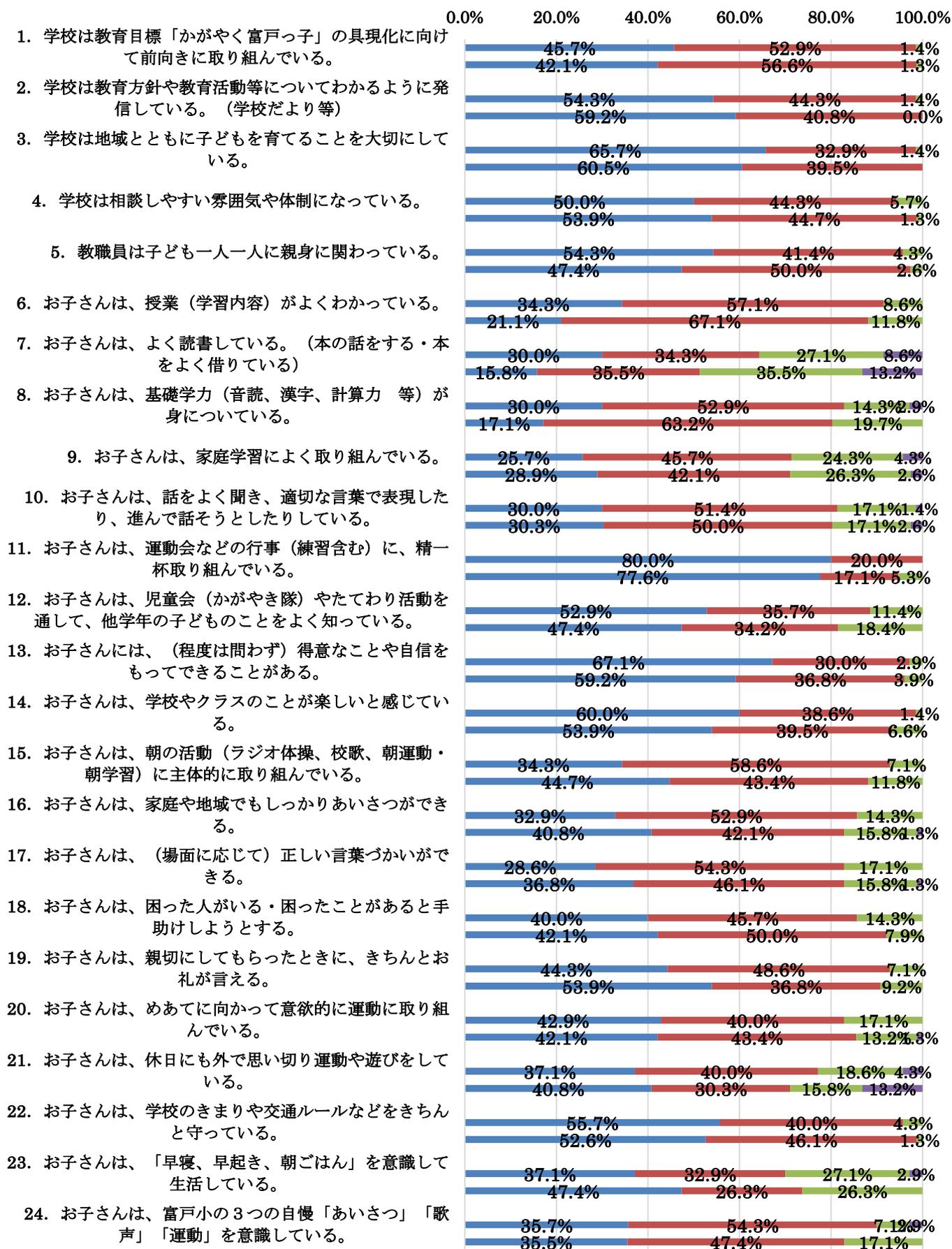
「工夫して挑戦し続ける子」についての設問では、「『早寝、早起き、朝ごはん』を意識している」は、A そう思う B まあそう思うの合計が70%と昨年度よりも数値が下がり、24項目中一番低い結果となりました。生活リズムを整えることは、学習や運動はもちろん、心の健康にも大きく影響します。お子さんが、気持ちよく生活する基盤となりますので、ご家庭での協力をお願いします。

また、20「めあてに向かって意欲的に運動に取り組んでいる。」は、数値がやや下がりました。遊びや運動など、体を動かす楽しさを経験を通して感じさせたり、めあてに向かって体を動かす仕掛けを考えたりしていきたいと考えています。

保護者アンケート全校(1学期前年度比較)

上段：R6

下段：R5



■ A そう思う

■ B まあそう思う

■ C あまりそう思わない

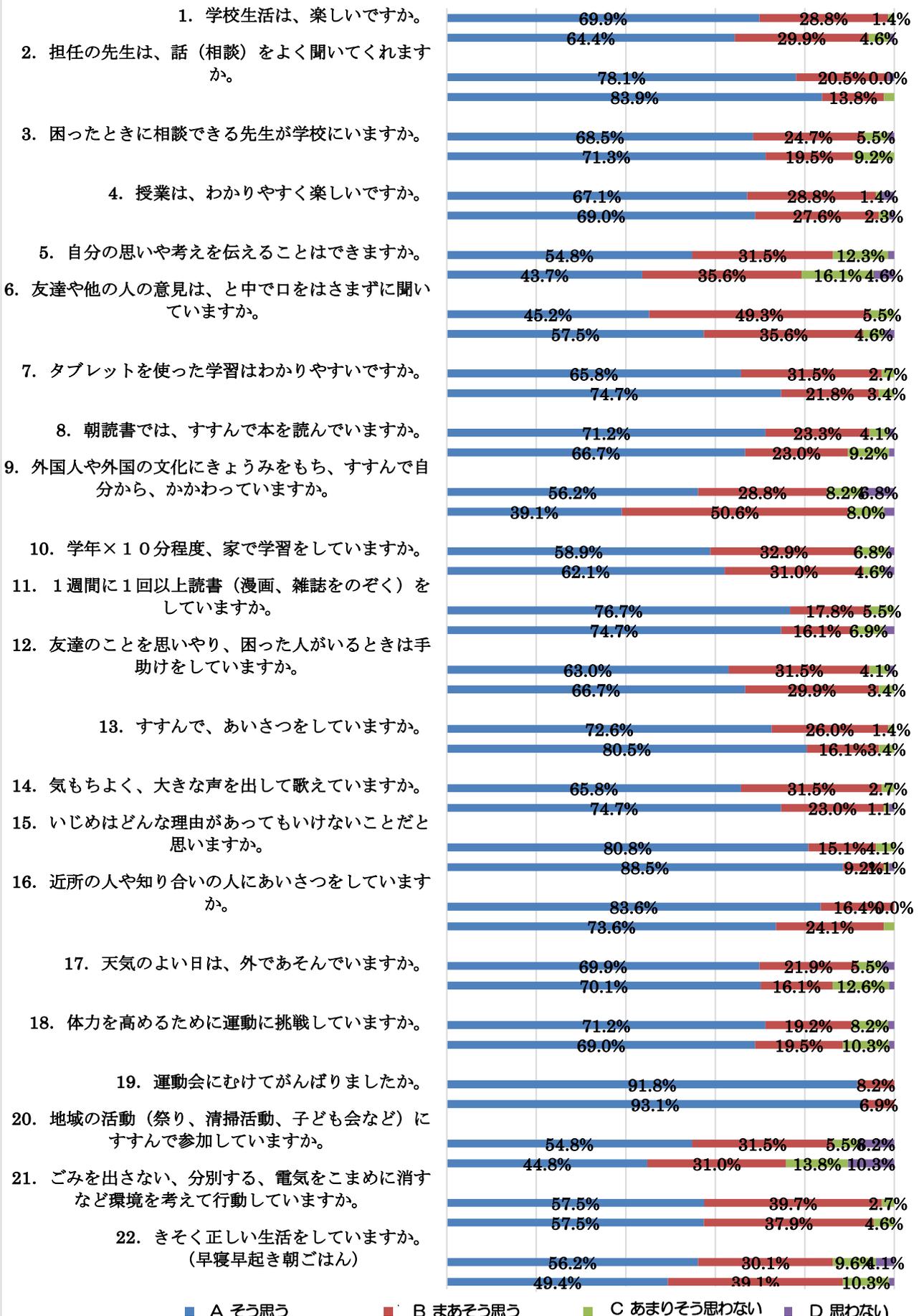
■ D 思わない

児童アンケート全校(1学期前年度比較)

上段：R6

下段：R5

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



■ A そう思う

■ B まあそう思う

■ C あまりそう思わない

■ D 思わない

【ご意見について】

感謝や励ましの言葉、貴重なご意見をいただきました。全て掲載することはありませんが、ご意見と学校の対応をお知らせします。

<学習・諸活動について>

- ・参観日に、授業中に手を挙げてさされるのを待って、起立して話すことは必要なかと思いましたが、すぐに変えて欲しいということでないのですが、そこに意味があるということであれば良いと思います。あまり意味はないけど昔からあるルールだからそれに従うというのは、時代背景が変わる中で気をつけなければいけないことだと感じています。

□授業の中で発言する際、挙手して指名されてからと言うのは、子どもたちが集団で学習や生活をする中では、互いの話を聴き合うためには必要な手立ての一つと考えています。学習形態や内容によっては、自由に発言し合うこともありますし、1年生から6年生までの発達段階に応じて、それらを使い分けています。互いの話を聴き合う力を身に付けることは、思いやりを育み尊重し合う関係性を築くこともできると考えています。

<情報発信について>

- ・学校からのおたよりをアプリで配信して欲しいです。写真も多く載せられるだろうし、出先でもいつでも確認できるのでぜひお願いしたいです。
- ・懇談会時に配布する資料ですが、ほとんどの先生がその日話すテーマタイトル(学習の様子、生活の様子、など)のみが書かれており、保護者は出席して話を聞いてそのプリントにメモを取るような作りになっているかと思えます。兄弟がいるとどうしてもどちらかの話しか聞けないので、出席できない時は他の保護者に後日聞いたり、先生に聞いたりしているので、先生方にとっても二度手間になっているかなと感じました。懇談会で話し合う内容は別として、先生が話をする予定の内容だけでも詳しく記載があれば、欠席家庭に向けて配布もできるしいいのではないかなと感じました。

□学校だよりについては、「マチコミ」のアプリの学校のホームページボタンから入って見られるようになっていますので、ご活用ください。その他、情報発信の方法については、目的等に応じて対応したいと考えています。

□懇談会の資料については、保護者の皆様にお伝えしたい内容を簡潔に記し、出席できなかった方にも、担任や学校の考えがお伝えできるようにします。その上で、話し合いを充実させたいと考えています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<放課後の居場所づくりについて>

- ・ゲームが好きで戸外で遊ぶことが少ないので、授業終了後に夕方まで校庭などで遊んでいい時間を作って欲しい。子供が少ない、田舎なので遊べる場所が少ないから。
- ・バスの時間やお迎え等で学校で待たせたいので、ある程度の時間まで図書室などの解放があるといい。

□日没時刻を考慮し、完全下校時刻を決めています。完全下校まで、学校で過ごしているお子さんもいます。しかし、それ以降は、子どもたちの安全のため、下校することとしています。それぞれのご家庭の事情により状況は異なると思います。お子さんが安全に過ごせる方法について、懇談会等でも話題にしていきたいと考えています。

□路線バスを待ったり、ご家庭の都合でやむを得ず迎えが遅くなる等の事情があったりするときは、事前にご連絡をいただき、職員が見守り学校内で過ごしています。日常的になると、お子さんの見守りができるとは限らないため、図書室等の開放は現在のところ難しいです。ご理解のほどよろしくお願いいたします。